

(3) 常緑樹の侵入が見られる

低木から亜高木性の常緑樹であるヒサカキは各地の森林でもっとも普通に見ることができます。

このほか高木性の常緑樹である、スダジイ、アラカシ、タブノキ、シロダモ、ヤブニッケイが目立っています。



常緑樹のヒサカキ

(4) 特定の木が立ち枯れてきている

亜高木性のエゴノキは、それほど大きくなりません。15～20年に1回程度の伐採管理を続けているかぎりコナラ、クヌギ、イヌシデと共生することができました。

現在の放置された森林は、樹高が17～18mと大きくなっており、エゴノキはコナラやクヌギとの競争に負けて、そのまま立ち枯れてきています。

将来、エゴノキが雑木林の中から少なくなっていくことは十分考えられます。



常緑樹の侵入が著しい落葉樹林



常緑樹が林の下に生育し始めている



枯れてキノコが生えたエゴノキ



枯れて樹皮が剥がれてきたエゴノキ